



SIAは日本を代表して
国際スキー教師連盟 (ISIA) に
加盟しています。



人に優しく、自然に優しく。

～白い雪山をいつまでも～



8月11日は「山の日」

クリーンキャンペーン SIA

1月12日はスキーの日



総裁 彬子女王

ている。

殿下がお子様の頃に、雪の降った赤坂御用地内でスキーをされていたことや、兄宮の高松宮殿下と共に、北海道大学スキー部のご案内で、札幌で山スキーを楽しまれたことなど、スキー関連の記録がいろいろあり、そのたびに、親子三代でスキーを楽しんでいるということに、うれしい気持ちになった。中でも、直接スキーと関係があるわけではないのだが、私が好きなできごとがある。昭和36年5月7日「皇居にて皇后陛下主催の天皇陛下御還曆奉祝会に皆さままで御陪席。三笠宮御

一家で「雪山讃歌」を御演奏になる。憲仁親王殿下が笛とマラカスできっかけを出し、妃殿下もウクレレで御伴奏、三笠宮殿下が御歌いになる。」というものである。

殿下はスーツ姿で歌詞カードを持たれ、妃殿下はお和服姿でウクレレを手に、お子様方は全員学習院の制服姿でそれぞれの楽器を手にして演奏されている写真が残されている。15歳の父がギターを弾かれていて、この頃からもう弾かれていたんだなあ気持ちほっこりとした。ダークダックスが雪山讃歌をレコードで発売して間もない頃なので、これを歌うと決められたのは、スキーも音楽もお好きだった父の提案だったのではないかと推測している。

ちなみに雪山讃歌は、アメリカ民謡の「いとしのクレメンタイン」に日本語の歌詞をつけたもの。大正15年に京都帝国大学山岳部の西堀榮三郎が嬌恋村の鹿沢温泉を訪れた際、大雪で足止めをされたので、退屈を紛らわすために仲間と替え歌を作ったのが原型なのだろう。言われてみると「おれたちや町には住めないから」と京言葉の名残を感じる。いつかまた雪山で、殿下や父を偲びながら、スキー仲間と雪山讃歌を歌える日が来るだろうか。

就任のご挨拶

会長 杉山 公信

2022年11月10日のSIA第43回定時会員総会において、会長に就任致しました、杉山公信(53歳)です。現在、志賀高原奥志賀にて杉山スキー&スノースポーツスクールとShiga International Ski Schoolの校長をつとめております。SIAの役員改選は公益法人法の定めにより2年ごととなっています。そして、会長選出は規約に基づき「理事による互選によって選出する」事となっております。具体的には総会前半に、終了した期の報告を行い、その後の休憩時間中に改選役員による第1回理事会が行われ、そこで会長に推された私は、役者不足ではありますが、覚悟を決めお引き受けし、総会後半にて就任報告をさせて頂きました。

大変な重責に身の引き締まる思いではありますが、日本のスノースポーツの安全な発展に寄与し、会員の皆様がSIA会員であることに誇りを持ち続けられるように、執行部・事務局一丸となり努めて参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

1993年頃のピークに対して国内のスキーをはじめとするスノースポーツ人口は約1/3になったと言われておりますが、国内少子高齢化が進む中、すべてのスポーツがその人口確保に懸命な努力を行っているのはご存じの通りです。現在の我々を取り巻く環境は厳しいものがあります

が、「教えるプロ」として、スキー場においてもっとも長時間お客様と接している我々の果たすべき役割の重要性は増してくると思われれます。

一方で今後に向けて常に念頭に持つべきは「変化に対応できるものが生き残る」と考えています。正しかった制度や施策も、時代に合わなければ変えていかなければなりません。変えることには心配や不安の声もあるかと思いますが、そこはしっかりと議論した上で結論を出し、実行に移すべきではないでしょうか。確かに、ここ数年を安息に過ごす事を考えれば、変革は行わない方が良いでしょう。しかしながら、スキー場・ホテル・交通インフラ・インバウンド需要・デジタルによる伝達等は、当たり前ではありますが、SIA設立当時とは大きく変わっております。また、常に多くの入会者があり、デモ選に200名以上の参加者があった頃に比べると、緊張感のある財務状況でもあります。

もちろん理念に基づく必要な継承は行います。その上で、現在を乗り切り、未来に繋がる制度作りに勇気を持って取り組むことが必要であると思っております。

最後に、会員皆様にとって今シーズンが充実したものであり、怪我や事故なく無事に終えられる事を祈念しております。

新役員紹介

令和4年11月10日開催の第43期定時会員総会において、任期満了に伴う役員改選が行われ、新役員が決定しました。



会長
杉山 公信 53歳
杉山スキー&
スノースポーツスクール 校長
SHIGA INTERNATIONAL
SKI SCHOOL 校長



副会長
総務部 財務委員会
横元 信明 68歳
中里スノーウッド
スキースクール 校長



専務理事
江畑 昌英 64歳
木島平プロスキースクール 校長



常務理事
総務部部长 財務委員長
穴田 慎一 53歳
黒ゆりプロスキースクール 校長

新役員紹介



常務理事
教育部部長 技術委員長

久慈 修 52歳
TSO SKI ACADEMY 校長



常務理事
学校部部長

山之内 弘 67歳
ヨーデルスキー学校 校長



理事
総務部副部長 支部委員長

横尾 恵里 62歳
オニコウベスキー&
スノーボードスクール 校長



理事
総務部副部長
学校部 学校委員長

米花 正裕 67歳
WINKELスノースクール 校長



理事
教育部副部長
障がい者スキー委員長
総務部 広報委員長
芹川 正弘(新任) 52歳
ワイズスノー&アウトドアスクール



理事
教育部副部長 資格委員長
技術委員会
学校部 安全委員長
伊藤 幸治(新任) 51歳
スクエアスキーレッスン 校長



理事
学校部副部長
教育部 研修委員長
資格委員会
宮崎 哲(新任) 55歳
シュナイダースキースクール 校長
峰の原ジュニアスクール 校長



理事
総務部 総務委員長
デジタル委員長

吉岡 郁栄 45歳
Hakuba 47 スキーアカデミー



監事
梶井 晃 57歳
(公認会計士)



監事
橋 俊秀(新任) 63歳

※年齢は2023年1月25日現在

インタースキー代表団

第22回目となるインタースキーが2023年3月26日～31日にフィンランドレヴィで開催されます。SIAからは下記のメンバーを派遣いたします。

副団長	杉山 公信
ヘッドコーチ	伊藤 幸治
コーチ	山本 治・栗原 立人
通訳	北神 有理
デモンストレーター(アルペンスキー女子)	小上 理恵・湯下 万里
デモンストレーター(アルペンスキー男子)	長谷川 勝彦・岡本 大樹 湯下 大地・小原 健汰
デモンストレーター(テレマークスキー)	上野 英孝・入倉 庸仁
撮影	近藤 洋



SIAプロスキー教師コンテスト

大会の目的

【レッスンで表現する滑り】日々の活動の中で基盤となる技術に特化し、全国から集うSIA会員が年齢や指導経験を越えて、プロスキー教師としての洗練されたその運動表現を競う。

要項

日程	2023年4月7日(金)
場所	志賀高原一ノ瀬ダイヤモンドスキー場
競技説明	テクニカルミーティング(4月6日18:00～オンライン)
参加資格	①SIA会員(アルペンスキー・ステージI、II、III、IVの有資格者) ②大会申込締切日までに今期までの会費を納入した者。
参加費用	5000円(保険代含む)
注意事項	使用するスキーの台数-1台、長さ、プレートの高さは制限なし。 プレートは市販の物を使用すること。自作プレートの使用は認めない。ヘルメットを着用すること。
表彰	表彰は上位10名(男女別)
採点方法	3審3採用(その場で得点を表示します)
種目	① ブルークボーゲン、② シュテムターン、③ ショートターン、④ ロングターン(伸身～屈伸)
運営への協力	参加者はコース整備等、運営への協力をお願いします。
取得単位	2
その他	競技の進行状況によって、時間の変更がある場合がありますのでご了承下さい。

■タイムスケジュール

時間	内容	場所・他
9:00 ~ 9:20	ゼッケン配布	大会本部テント
9:30 ~ 9:45	インスペクション	
10:00 ~	ショートターン	(ダイヤモンド上部から下部)
11:00 ~	ロングターン 伸身~屈身	(ダイヤモンド上部から下部)
12:30 ~ 12:45	インスペクション	
13:00 ~	ブルークボーゲン	(ダイヤモンド中間部から下部)
14:00 ~	シュテムターン	(ダイヤモンド中間部から下部)
15:00	競技終了撤収	参加者全員で行う
16:30	成績発表・表彰式	ホテルまたは会場

※諸事情によりスケジュールに変更がでる場合があります

着眼点

教程に準ずる内容を基本にして、
全種目を通じてプロスキー教師らしい洗練された運動表現を評価する。

①ブルークボーゲン

- ・斜面に合った運動が出来ているか
(脚部の回旋量、荷重抜重、上下動の量)

②シュテムターン

- ・脚部を中心とした開き出し、引き寄せの運動が出来ているか。
- ・基本的な外向、外傾のポジションが取れているか。
- ・両スキーの動きが最後まで続く事。
- ・ストック使用のタイミングは適切か。

③ショートターン

- ・適度にズレを伴った均一なリズム。
- ・斜面に応じたターンスペースが取れているか。
- ・斜面に合った運動がリズム良く出来ているか
(脚部の回旋量、荷重抜重、上下動の量)

④ロングターン・ 伸身~屈身

- ・上部は伸身運動、下部は屈伸運動での切り替え操作とする
- ・両操作とも適度なズレ幅のあるターンとする。
- ・両操作とも適度な外傾、外向姿勢が取れているか。
- ・ストックを使用するタイミングは適切か



SIAフェスティバルは隔年(西暦偶数年)の開催を予定しています。次回SIAフェスティバルは2024年4月北海道ニセコアンヌプリスキー場での開催を予定しています。2023年4月は長野県志賀高原スキー場の瀬エリアにおいて、「SIAプロスキー教師コンテスト」の他に「学校長研修会」(4月6日~7日)、「アルペンスキー・ステージⅣ検定会(新規および再受験)」(4月3日~6日)、「スノーボード・ステージⅣ検定会(再受験のみ)」(4月5日~6日)、「テレマークスキー・ステージⅣ検定会(再受験のみ)」(4月5日~6日)を開催いたします。

会員研修規程運用に関する説明

活動状況によって「活動会員」と「維持会員」に明確に分け、4年毎の更新制となっています。

1. 活動会員になろうとする場合、公認スキー学校への所属と4年間(SIA会計年度4期)に8単位取得と救急法の資格が有効であることが必要条件となります。
2. 更新年度に研修会の参加義務を果たしている場合、活動会員として更新され翌年度より4年間(SIA会計年度4期)有効となり、公認スキー学校の構成メンバーとなれます。但し、この期間中救急法の受講を有効期限内に修了し、更新しなければいけません。もし、更新しない場合は維持会員となります。
3. 更新年度に研修会の参加義務を果たしていない場合は維持会員となります。
4. 維持会員が活動会員になろうとする場合は、研修会の参加義務を果たし届け出ると、届け出日より活動会員となります。(下記の更新日に変更はありません。入会年月日に応じたものとなります。)

今期44期より会員更新サイクルが変更になりました

- 入会時のみ、単位有効期限が異なりますが、その後4年に1回の単位有効期限に合わせ、全員が一斉に有効期限を迎えるように変更いたしました。

	第40期	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
既存会員パターン1	入会				更新			
既存会員パターン2		入会			更新			
既存会員パターン3			入会		更新			
既存会員パターン4				入会	更新			
44期入会					入会			
45期入会						入会		
46期入会							入会	
47期入会								入会

44-47で8単位取得

44-47で8単位取得

44-47で8単位取得

44-47で8単位取得

47期までに6単位取得

47期までに4単位取得

47期中に2単位取得

全会員一斉に活動会員として更新(取得単位数はリセット)

44期より全員一斉に更新時期を統一し、それまでの取得単位数はリセットの上、全員が活動会員に。救急法については有効期限内に終了し、更新しなければ維持会員となります。

+++ 救急法受講の手引き +++

活動会員には救急法講習を受講することが義務付けられています。

下記のいずれかに参加し、認定証・受講証・修了認定カードのコピー(画像可)をSIA事務局に提出してください。

- 消防署普通救命講習 ●消防署上級救命講習 ●日本赤十字社救急法基礎講習 ●消防署応急手当普及員養成講習 ●日本赤十字社救急法救急員養成講習

会員研修規程

3.資格更新 (2)活動会員は下記に定める救急法講習会のいずれかを受講し修了する。ただし、それぞれの有効期限内に更新しなければならぬ。

- ①消防署 普通救命講習または上級救命講習または応急手当普及員
- ②日本赤十字社 救急法基礎講習または救急法救急員養成講習
- ③上記①、②の講習会と同等の内容を有する講習(教育部が認めたもの)
- ④医師、看護師等の医療資格保持者は、受講したと見做す

会員研修会の単位も取得できます。

- SIAまたはSIA各支部主催の講習会等に参加した場合、申請方法・登録料等については、主催者の指示に従ってください。
- 個人で受講した場合、認定証・受講証・修了認定カードのコピー(画像可)に単位登録申請用紙と登録料を添えて、SIA事務局に提出してください。
※単位取得を希望しない場合は、単位登録申請用紙と登録料は不要です。

個人で受講した場合	登録料・取得単位	登録料・取得単位
●消防署普通救命講習 ●日本赤十字社救急法基礎講習	登録料：1,000円 取得単位：2単位	●消防署上級救命講習 ●日本赤十字社救急法救急員養成講習 ●消防署応急手当普及員養成講習

登録料：2,000円 取得単位：4単位

新型コロナウイルス感染症の影響による特別措置について

2020年1月以降に切れる(または切れた)会員については延長を認めています。取得期限は2023年9月末日までとします。ただし、今後のコロナウイルスの状況を鑑みながら、早期の取得を推奨します。

維持会員から活動会員への復帰について

《活動会員の必要条件》 ・研修会参加(4年間に8単位取得) ・救急法講習会修了 ・公認スキー学校に所属
維持会員が活動会員になろうとする場合は、これらを実行し、届出いただく必要があります。

●研修会参加義務(4年間に8単位取得)を果たしていない場合●

前回の更新時に不足していた単位(※)を取得した後に、「活動会員復帰申請書」を申請料(1,000円)とともに提出してください。

※ご不明な場合は、SIA事務局までお問合せください。

●救急法講習会を修了していない場合●

「救急法講習会 受講の手引き」をご覧ください、修了証等のコピーをSIA事務局に提出してください。

会員の皆様が安心してスキー活動に専念できるように、また公認校の皆様が健全な運営をされる上でも、万一の事故に備えた保険補償制度は必要不可欠なものであると思われます。その一環としてSIAでは会員及び公認校の皆様のために毎年、「SIA会員総合補償制度」及び「SIA公認スキースクール賠償責任補償制度」を設けています。

1. SIA会員総合補償制度

SIA会員で9月末日迄に会費を納入した方に適用される制度です。

◇SIA会員総合補償制度 補償内容

傷害死亡	傷害入院日額	傷害手術費用	個人賠償責任
200万円	2,500円/1日	2.5万円	5,000万円

*傷害支払対象期間：事故日より180日／支払限度日数：入院180日 通院90日

①傷害死亡および傷害入院日額、傷害手術費用

会員(プロ教師、アルバイト・インストラクター、その他)の公認スクールでの業務中(オフシーズンの業務含む)のご自身の傷害を事故日から180日以内を対象に補償する制度です。

②個人賠償責任

日本国内での日常生活に起因する(=業務中以外の)個人賠償責任を補償する制度です。

2. SIA公認スクール賠償責任補償制度(SIAと各スクールで加入)

◇日本国内で、スキースクールが誤って生徒または他のスキーヤーの方などにケガをさせてしまった場合などに、その結果としてスキースクールが法律上の賠償責任を負うことによる損害を補償する制度です。

◇次のような内容が支払いの対象となります。

損害賠償金(示談や判決等により決定されたもの)事故発生時、損害防止、軽減のために必要な費用(応急手当、緊急措置費用等)弁護士報酬等の訴訟費用

◇補償内容

賠償限度額：5億円／1事故(対人・対物共通)
(事故負担額：5万円)

☆ 主な賠償責任保険対応の裁判案件 ☆

◆平成13年2月発生事故 【裁判】

○事故内容：某公認スクールの高校スキー修学旅行講習中の受講生が、チケット売場でチケット購入中の第三者に衝突。相手が脊椎骨折の重傷を負った事故。

○原告損害賠償請求総額：約4200万円

○平成16年11月4日 裁判所和解案

・損害賠償総額：2136万6213円

◆平成13年2月発生事故 【裁判】(平成15年に相手が裁判所へ訴えを起こす)

○事故内容：某公認スクールの中学スキー修学旅行講習中の受講生が、一般スノーボーダーと衝突。相手が左足骨折の重傷(全治2年)を負った事故。

○原告損害賠償請求総額：約300万円

○平成18年11月 裁判所和解案

・損害賠償総額：174万円

◆平成16年3月発生事故 【裁判】

○事故内容：当該公認スクールの高校スキー修学旅行の受講生が、トレン講習中にトレンからはずれ、立木に衝突。左足骨折の重傷を負った事故。

○原告損害賠償請求総額：約400万円

○平成19年11月 裁判所和解案

・損害賠償総額：207万円

◆平成20年3月12日発生事故 【弁護士案件】

○事故内容：当該スキースクールの中学校修学旅行受講生がトレン滑走中に、他校引率教頭に追突。

教頭=右膝靭帯断裂。当該受講生=ケガ無し。

○原告損害賠償請求額：約770万円

○平成22年7月 示談成立

・損害賠償総額：490万円

◆平成26年2月6日発生事故 【裁判】

○事故内容：当該公認スクールの中学校修学旅行受講生(初心者)がトレン中に受講生同士で衝突。前方の受講生が右腕複雑骨折。入院、手術。後遺障害の可能性。

○原告損害賠償請求総額：約850万円

○平成28年6月 裁判所和解案

・スクール側が、受講生に対し、243万6126円を支払う。

○あいおいニッセイ同和損保・保険金支払総額

：303万4126円(免責5万円差引後)

○内訳：原告側へ支払=243万6126円 弁護士費用=64万8000円

☆直近5年間での主な賠償責任保険対応案件☆

◆平成27年3月14日発生事故 【弁護士案件】/平成30年6月保険金支払

○事故内容：当該公認スクールの小学校修学旅行受講生が受講中に一般スキーヤーと衝突。受講生が左大腿骨骨折の重傷。入院。手術。脚長差のため完治まで10年。

○賠償額：直接の加害者が被害者に520万円を支払い、当該スクールには求償しないことで決着。但し、後遺障害が発生した場合は、別途交渉要。

○あいおいニッセイ同和損保・保険金支払額

：弁護士費用+調査会社費用=88万円

◆平成30年3月12日事故【弁護士案件】/令和2年1月保険金支払

○当該公認スクールインストラクターが、片足斜滑降の指導中にゲレンデ上より滑走してきた一般スキーヤーと衝突。

相手：右膝粉砕骨折。緊急手術の後、2か月半の入院。

約半年間の休職。当該スクールに1200万円の損害賠償請求。

別途、相手健保組合より250万円の損害賠償請求有り。

○あいおいニッセイ同和損保・支払保険金：賠償額 + 弁護士費用他

=275万6150円

〈SIA会員総合補償制度加入手続きについて〉

9月末日までに年会費を納入した会員に適用されます。

10月1日以降は年会費に2,000円プラスしてご入金頂くと追加で加入できます。

10月1日以降に新規入会の認定会員については随時加入が可能です。

〈加入状況の確認について〉

SIA会員総合補償制度加入状況については、宛名ラベルとP15「宛名ラベルの見方」を併せてご確認ください。

〈年会費〉

ステージⅣ(正会員)..... 15,000円

ステージⅢ(正会員)..... 13,000円

ステージⅡ(正会員)..... 11,000円

ステージⅠ(認定会員)..... 6,000円

〈納入先〉

●現金書留の場合

〒104-0032東京都中央区八丁堀2-2-9 コパキンビル3F
公益社団法人 日本プロスキー教師協会 事務局

●銀行振込の場合

三井住友銀行 京橋支店 普通預金 7098636
公益社団法人 日本プロスキー教師協会

2022-2023実技検定種目(ステージI~IV)

アルペンスキー・ステージI	スノーボード・ステージI	テレマークスキー・ステージI
ブルークボーゲン シュテムターン ロングターン	初歩のターン スライディングターン・ロング スライディングターン・ミドル	テレマーク斜滑降 シュテムテレマークターン ベーシックロングテレマークターン
アルペンスキー・ステージII	スノーボード・ステージII	テレマークスキー・ステージII
ブルークボーゲン シュテムターン ロングターン ショートターン	初歩のターン スライディングターン・ショート フェイキーターン カービングターン	テレマーク横滑り ベーシックショートテレマークターン ロングテレマークターン バックステップターン
アルペンスキー・ステージIII	スノーボード・ステージIII	テレマークスキー・ステージIII
シュテムターン(中斜面) ロングターン ショートターン 総合滑降	カービングターン ショートターン 総合滑降 エアー(ジャンプ)	8の字スケータイング ショートテレマークターン スーパーロングテレマークターン リズム変化(ロング・ショート)
アルペンスキー・ステージIV	スノーボード・ステージIV	テレマークスキー・ステージIV
シュテムターン(ナチュラルバターン含む) ロングターン ショートターン(コブ) 総合滑降 ゲート(GS)	初歩のターン カービングターン ショートターン不整地 総合滑降(エアースイッチ含む) エアー(トリック含む) ポール体験	スーパーショートテレマークターン パンプライド(コブ) フリー滑走 ジャンプ ポールライド(体験)

2022-2023指導実習テーマ(ステージII~IV)

アルペンスキー・ステージII	スノーボード・ステージII	テレマークスキー・ステージII
①ブルークボーゲンの導入 ②シュテムターンの導入 ③シュテムターンからロングターンの導入 ④ずれを使ったショートターンの導入	①スケータイングと片足装着での滑走から 停止への導入(両サイド) ②横滑り(トウサイド)の導入 ③トウサイドからヒールサイドの ワンターンへの導入 ④ヒールサイドからトウサイドの ワンターンへの導入 ⑤初歩のターンからスライディング ターンへの導入	①テレマークポジションの説明と テレマーク直滑降の指導 ②テレマーク斜滑降と山回りの指導 ③ブルークテレマークターンができる人を、 シュテムテレマークターンへ導入 ④バックステップターンの有効性の説明と指導 ⑤前後差が少なく不安定なテレマーク ポジションの人を、安定したポジションへ ⑥ターン後半に内側になる人を適正な テレマークポジションへ
アルペンスキー・ステージIII	スノーボード・ステージIII	テレマークスキー・ステージIII
①シュテムターンの導入 ②ロングターンへの導入 ③ショートターンの導入 ④外足の捉えが弱い スキーヤーに対する指導 ⑤両足同時操作ができない スキーヤーに対する指導 ⑥深まわりターンができない スキーヤーに対する指導	①スライディングターンからカービング ターンへの導入 ②ショートターンへの導入(両脚操作) ③エアースイッチの導入(フロントサイド またはバックサイド) ④カービングターンでターン前半で テールの振り出しが強い人への指導 ⑤スピードコントロールが出来ない スノーボーダーへの指導 ⑥フェイキーターンが苦手な スノーボーダーへの指導	①「ダイレクトA」についての説明と それを使って連続ターンへ導入 ②「ダイレクトA」でベーシックロング テレマークターンの指導 ③「ダイレクトA」でベーシックショート テレマークターンの指導 ④ターン後半に上体が内向しすぎる人を改善 ⑤バランスを高めるテクニカルトレーニングを 2つ挙げ、動作説明と実践 ⑥荷重を強めるテクニカルトレーニングを 2つ挙げ、動作説明と実践
アルペンスキー・ステージIV	スノーボード・ステージIV	テレマークスキー・ステージIV
ビデオアナリシス指導(ビデオ分析+指導法)	ビデオアナリシス指導(ビデオ分析+指導法)	①「ブルークスタンスを使って」「ダイレクトA」 「ダイレクトB」を比較説明と実践 ②「ダイレクトB」でロングテレマークターンの指導 ③「ダイレクトB」でショートテレマークターンの指導 ④「重心移動」の練習に有効なテクニカル トレーニングを2つ挙げ、動作説明と実践 ⑤「エッジング」の練習に有効なテクニカル トレーニングを2つ挙げ、動作説明と実践

2023検定会スケジュール

協力 / 主催	会場	行事名	日程	申込メ切
北東北支部 南東北支部	箕輪	アルペンスキー・ステージⅡ検定会	2月28日(火)～3月2日(木)	2月15日(水)
		アルペンスキー・ステージⅢ検定会	2月28日(火)～3月2日(木)	
志賀高原支部	志賀高原・一ノ瀬	アルペンスキー・ステージⅡ検定会	3月 8日(水)～ 10日(金)	
		アルペンスキー・ステージⅢ検定会	3月 8日(水)～ 10日(金)	
西日本支部	八チ高原	アルペンスキー・ステージⅡ検定会	3月 8日(水)～ 10日(金)	
		アルペンスキー・ステージⅢ検定会	3月 8日(水)～ 10日(金)	
北海道支部	朝里川温泉	アルペンスキー・ステージⅡ検定会	3月10日(金)～ 12日(日)	
		アルペンスキー・ステージⅢ検定会	3月10日(金)～ 12日(日)	
		スノーボード・ステージⅡ検定会	3月10日(金)～ 12日(日)	
		スノーボード・ステージⅢ検定会	3月10日(金)～ 12日(日)	
関越支部	神立スノーリゾート	アルペンスキー・ステージⅡ検定会	3月15日(水)～ 17日(金)	
		アルペンスキー・ステージⅢ検定会	3月15日(水)～ 17日(金)	
長野東北信支部 長野中支部	菅平高原	アルペンスキー・ステージⅡ検定会	3月15日(水)～ 17日(金)	
		アルペンスキー・ステージⅢ検定会	3月15日(水)～ 17日(金)	
		スノーボード・ステージⅡ検定会	3月15日(水)～ 17日(金)	
		スノーボード・ステージⅢ検定会	3月15日(水)～ 17日(金)	
		テレマークスキー・ステージⅡ検定会	3月15日(水)～ 17日(金)	
		テレマークスキー・ステージⅢ検定会	3月15日(水)～ 17日(金)	
教育部	志賀高原・一ノ瀬	アルペンスキー・ステージⅣ検定会	4月 3日(月)～ 6日(木)	3月20日(月)
		スノーボード・ステージⅣ検定会(再受検のみ)	4月 5日(水)～ 6日(木)	
		テレマークスキー・ステージⅣ検定会(再受検のみ)	4月 5日(水)～ 6日(木)	

各行事の詳しい要項は、SIAホームページをご覧ください。



※今年度のいずれかの会場で受検された方は、合格点に達しなかった科目を今シーズン内に再受検が可能です。

協力 / 主催	会場	日程	申込メ切
志賀高原支部	志賀高原・一ノ瀬	3月10日(金)	3月 5日(日)
西日本支部	八チ高原	3月10日(金)	3月 5日(日)
北海道支部	朝里川温泉	3月12日(日)	3月 7日(火)
関越支部	神立スノーリゾート	3月17日(金)	3月12日(日)
長野東北信支部 / 長野中支部	菅平高原	3月17日(金)	3月12日(日)

SIA公認校で日々活動している 会員の方をリレー形式でご紹介



井上 唯衣 さん

アルペンスキー・ステージII

所属校/エコーパレスノースポーツスクール

私は中学生の頃、家族でのスキー旅行の際に、エコーパレスノースポーツスクールでデモンストレーターの湯下大地コーチ、万里コーチのレッスンを受け、力強い滑りと楽しいレッスンに夢中になり、自分も見ただけで楽しくなるような滑りがしたいと思い、毎週末エコーパレーに通うようになりました。

憧れのコーチの滑りに近づけるようアルペンも練習し、大学時代にはアルペンスキー全日本歯科学学生総合体育大会にて女子団体優勝を果たすこともできました。

練習の傍ら、インストラクターとしてレッスンも持つようになり、スキーの楽しさを伝えられることがとても嬉しい時間でした。

初めは怖いと泣いていた子が、レッスンの終わりに、スキーが大好きと笑顔で滑ってこられるようになるまで寄り添うことが何より楽しい時間でした。

現在は歯科医師として大学病院に勤務し、小児歯科、障がい者歯科の専門医を取るべく日々研鑽しています。

近年は雪上にいられる時間は短いですが、昨シーズンめいほうで行われた障がい者スキー教師の講習会に参加させていただきました。

今後は歯科医師プロスキー教師としての目線で、障がい者スキー業界の可能性を広げていけたらと考えています。

障がい者歯科診療では、養育に近い行動変容で患者さんの視野を広げることを目指しています。

スキーを楽しむ、できた！という達成感を感じてもらうことにより、新しい事への取り組むハードルを下げ、日常生活でも出来ることを広げていけるようなレッスンを提供していきたいと考えています。

NEXT 井上 唯衣さんよりの次号紹介予定会員

野村 夏江さん(Wing pro ski school)



山中 和也 さん

アルペンスキー・ステージII

所属校/ジャムプロスキースクール

会員の皆様、こんにちは。昨シーズンから福井県のジャムプロスキースクールでお世話になっている山中と申します。

私がスキーを始めたのは40年前大学生になった時です。当時は白いLiberty Bellのダウンが大人気で週末になると大阪の繁華街から何十台もの観光バスが信州・上越方面へと向かっていました。貧乏学生だった私は、アルバイトで貯めたお金で友人らとシーズンに数回行けるのがやっとでした。

社会人になると転勤や海外勤務などでスキーから遠のいてしまい、代わりに同僚や取引先らとのゴルフが増えるばかりでした。しかし、それも寒い冬には中断してしまいます。一昨年の冬、中途半端だったスキーをもう一度最初からやり直したいと思い、スクールのHPから応募してお手伝いから始めさせていただきました。実に30年振りとなりました。

私はスキーの経験、知識、技術等の全てにおいて乏しく、未熟ですし学習途上ですので多くは語れません。幼児、低学年の子供達にレッスンが中心ですが、いつもその子供達から多くを学ばせてもらっています。スキーに対する勇氣、向上心などを教えてもらっているのは、逆に私の方です。レッスンに対して心掛けていることは、安全対策は勿論ですが、レッスンを通じて一人でも多くの子供達にスキーの楽しさを知ってもらおうことです。

達成感としては、レッスン前は「スキーしたくない。」、とぐずっていたり、不安がっている子供がレッスン後に「もっと滑りたい!」、「まだ終わらたくない!」、と両親へねだる様子を見た時です。また、親御さんへレッスンのフィードバックをする際、我が子の上達を満願の笑みで喜んでおられる様子を拝顔した時に感じます。インストラクターとしては駆け出しで未熟ですが、今後も試行錯誤・自問自答を繰り返しながら知識・技術の習得に努めていきます。

上述の通り、経験が浅いので訪れたスキー場もごく僅かです。一方で国内外のスキー場を巡りも貪欲にしたいと思っています。昨年8月、家族の承諾を得て3週間ほどニュージーランドでスキーを楽しんできました。レンタカーで北島・南島を3,000km走り、現地のメジャーなスキー場を巡ってきました。国内外のスキー場で「〇〇は面白いよ。」とか「〇〇は行っておくべき。」等のアドバイスを頂ければ幸いです。

NEXT 山中 和也さんよりの次号紹介予定会員

FINDレー 咲夢さん(NAC SNOW SPORTS SCHOOL)



齋藤 幸太郎 さん

アルペンスキー・ステージIII

所属校/INOUE K2プロスキースクール

皆さまはじめまして。

私がスクールにお世話になり始めたのは大学2年生の頃でした。幼少期から年に数回スキーをしていましたが、本格的に取り組みだしたのは高校を卒業してからで、ほとんどゼロからのスタートでした。知っている用語は「ハの字」と「パラレルターン」くらい。滑りも無茶苦茶でした。そんな状態の私にスクールの先生方はたくさんのことを教えていただきました。スキーの技術や知識、道具の手入れから山での生活まで。すべてが初めてなことばかりで、2ヶ月間毎日、新鮮で、楽しくて、充実した素敵な日々でした。大学生になるまでは「考えてスキーをする」といったことを全くしてこなかったもので、頭の中がスキーでいっぱいになっていくことがなんだかとても嬉しく感じていました。

ステージIIとIIIの受験の際にも、先生方に全面バックアップしていただき何とか取得できました。もともと影響を受けやすい方ですが、大学を卒業するまで自分の尊敬する先生方と一緒に時間を過ごし、たくさんの影響を受けることができて、本当に感謝しています。

神立スノーリゾートは大規模なスキー場ではないですが、面白いところがギュッと詰まった、バラエティー豊かで楽しいスキー場だと思っています。そんなスキー場で毎日滑っていたことも幸せでした。

卒業後、ご縁があり、昨シーズンからは三浦雄一郎&スノードルフィンスキースクールでお世話になっています。テイネはまさに「山!」といった自然を感じる面白いスキー場です。雪質も最高で、いつも楽しく滑っています。そこで滑る先生方も個性的な方ばかりで、皆さん本当に楽しそうに滑っています。そして驚いたのは会員の子どもの元気の良さです。荒々しい斜面でも迷わず突っ込んでいく姿に、これが「どさんこ!」と神奈川県出身としては驚かすにはいられません。スキーをするたびに本当に楽しいスポーツだなと感じています。雪が降るとやっぱり嬉しいですし、色んな場所で色んな人とスキーができることがとても楽しいです。

これからも尊敬する先輩方の背中を追いながら、「一緒に滑りたい!」。そう思ってもらえるスキーヤー目指していきます。そして今年も長いスキーシーズンを送れることを願っています。

NEXT 齋藤 幸太郎さんよりの次号紹介予定会員

鈴木 則彦さん(三浦雄一郎&スノードルフィンスキースクール札幌)

スキー教師を続けていくためのヒント

板垣 玲奈さん
アルペンスキー・ステージⅢ

所属校/ヨーデルスキー学校



私はスキーで出会ったひとりの身体障がい者をご縁で、新潟市社会福祉協議会職員として通年、障がい者支援従事者をしています。もう一社、福祉施設も兼務しながら通年シフト制で働くパラレルワーカーです。両事業所の上司が「これからの時代は好きな事を続けながら板垣さんのような働き方をする人が増えていい。月に数日でもいいから、長く勤務してく

れる人材を大切にしたい」と言ってくださりありがたい限りです。スキー教師として障がい者対応もしています。

SIA会員になった翌年に参加した障がい者スキー教師認定講習会で、講師の山川さんから「障がい者スポーツ指導員に向いていると思うから、資格取ったらいいよ」と声をかけていただき、オフシーズンも障がい者スポーツに携わっています。

ある年の秋のこと。全国障がい者スポーツ大会に新潟県選手団監督として参加した時の事です。人生半ばにして突然障がい者(車椅子使用)となった選手が、ある競技でメダルを獲得しました。その選手は表彰台から下りると、私の所に向かって来られ、両手を握り号泣しながら「生きててよかった、ありがとう」と何度も言うのです。

私は病気やケガを繰り返して「自分はスキー教師に向いてないのかな?」と深く悩ん

でいたのですが、そんな私の悩みはこの出来事で払拭されました。

更に続けているモチベーションとなっているのは、天国にいる弟の存在です。高校生の時に秋田八幡平スキー場で一緒に滑った日が最後となりましたが、あの時滑走中の私に、弟はリフトの上から笑って手を振っていました。その光景が今でもたまに夢に出てくるのです。その夢を見ているうちは、私は弟の分までスキーを続けるでしょう。

自分のやりたい事を続けるのは大変ですが、多くの人と出会って話をする事で、続けるヒントがみつきり、モチベーション維持につながったと感じています。

NEXT 板垣 玲奈さんよりの次号紹介予定会員
佐々木 隆興さん(十和田湖プロスキー学校)

正会員(ステージⅡ・Ⅲ・Ⅳ)会員証について

会員証を刷新しました。顔写真を事務局に送ることで会員証が発行されます。今後、総会、各種研修会及び検定会等SIAの行事において本人確認のため会員証の提示を求める場合もありますので、未手続の方は写真をSIA事務局にお送りください。(できるだけメール添付でお送りください。)



協会ホームページ「会員ログイン」について

「会員専用ページ」を設置し、会員の皆様のみが閲覧出来る情報を掲載しています。

閲覧するには、全会員共通のUsernameとパスワードの入力が必要となります。【Username】sia-member 【パスワード】8a943v

STEP 1 SIA公式ホームページのTOP画面から「会員ログイン」のリンクをクリック。



STEP 2 「会員ログイン」画面で上記「Username」と「パスワード」を入力し「ログイン」をクリック。



STEP 3 「会員専用ページ」にアクセス。様々な情報を掲載しております。



主な掲載内容

- SIA NEWSバックナンバー
- 行事スケジュール
- SIAフェスティバルで行われた講習会等の動画
- インタースキー報告書
- レッスンやスクール受付業務でご使用いただける外国語資料
- 会員のための「オフシーズンの情報提供の場」
- 各種申請書
- メダル注文、ネームプレート注文フォーム

体力と動作の科学②③

回転競技②動作分析(1) 順手・逆手の分析と指導

新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

三浦 哲

今回は、回転競技の過去の可倒式ポールでの順手・逆手の動作分析について、表1にまとめました。この表に沿って、指導の基礎を再確認していきます。

指導においては、旗門の手前から滑走ラインを狙い、上体の構えは、旗門をスルーする動作から順手を習得する場合には、比較的上体を起こした姿勢で習得が容易の可能性がある。

	結果	文献
○順手技術 (非可倒式ポールとの比較)	<ul style="list-style-type: none"> 滑走軌跡：旗門のより手前(上)である。 横方向への移動も小さい。 上体の構えが浅くなっている。 	山田, 1983
○順手技術 (逆手技術との比較)	<ul style="list-style-type: none"> 上体(体幹)の向き：正対よりも逆捻りされている 	袖山ほか, 1991; 袖山ほか, 1993
○逆手技術 (順手技術との比較)	<ul style="list-style-type: none"> 滑走軌跡：ポールに接近した場所が可能 重心軌跡：比較的直線的な滑走が可能 スキー：横ずれが少ない(迎え角が小さく) 上体(体幹)：前傾が小さい 正対よりも回転進行方向に向く 下腿：前傾が大きい 	

表1 アルペンスキー回転競技における順手・逆手の動作の特徴(可倒式ポール)

①順手技術

1.1 非可倒式ポールとの比較

順手技術での非可倒式ポールとの比較では、全日本アルペンスキーチームBチームの選手について、滑走軌跡が旗門のより手前(上)であり、横方向への移動が小さくなり、上体の構えが浅くなっていました(山田,1983:図1)。

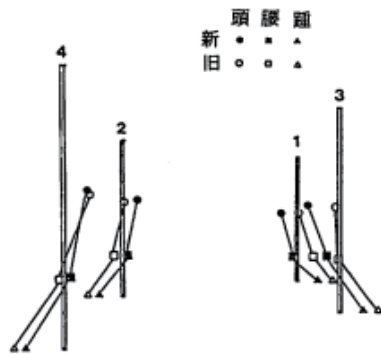


図1 海和選手の中斜面におけるポールからの側方距離(「新」は可倒式、「旧」は非可倒式。山田, 1983)

1.2 逆手技術との比較

順手技術を逆手技術と比較すると、上体(体幹)の向きが、正対よりも逆捻り(外向)されている(袖山ほか,1991;袖山ほか,1993)。指導の際には、適切な外向姿勢を生み出すために、順手技術でのトレーニングが活用できる。

②逆手技術(図2:袖山たち,1993)

逆手技術は、順手技術よりもポールに接近した位置で、重心の軌跡を直線的に滑っています。さらに、両スキーの横ずれが少なく(迎え角が小さく)、上体の前傾は小さく、下腿を十分前傾させた滑走をしていました。上体の向き(上から見た両肩のライン)は、順手では、フォールラインに対する正対よりも回転進行方向と逆捻りされているのに対し、逆手技術では、正対よりも回転進行方向に向いていることも示した(袖山たち, 1991:図3)。

逆手技術の指導において、スキー板の動きとしてカービング要素を行いやすいといえ、カービングターンを意識した滑走につなげることができます。上体の向きについても、カービングターンと同様の動作といえます。ただし、過度に内向姿勢にならないように留意をすることは、カービングターン指導と同じになります。

これら回転競技の運動を再確認し、指導に活かしていただければ、幸いです。

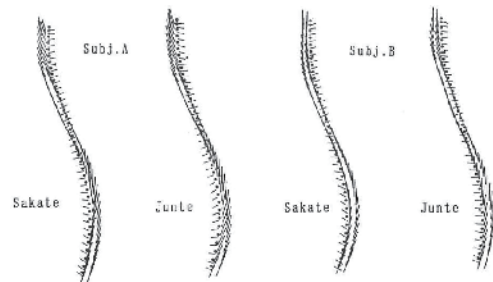


図2 スキーの向きと重心位置の変化 (SAKATE:逆手技術, JUNTE:順手技術;袖山たち, 1993)

【文献】 山田保, 1983. IV. 新ポールの採用が滑走技術に与える影響について, 昭和57年度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告No.Ⅱ競技種目別競技力向上に関する研究-第6報-スキー:400-403.
McMillan, I. 1984. A new line in slalom poles. Glasgow Herald February 28, p. 24.
袖山敏, 池上康男, 岡本敦, 池上久子, 安藤好郎, 1991. Ski Slalomの分析(1). 日本スキー学会誌, 1(1), p. 49-55.
袖山敏, 池上康男, 桜井伸二, 池上久子, 安藤好郎, 1993. SKI SLALOMの分析(2). 日本スキー学会誌, 3(1), p.47-55.
猪飼道夫, スキー・アルペン, 札幌オリンピックスポーツ科学研究報告, 日本体育協会, 157-179, 1972.
石毛勇介, 吉久武志, 小林 規, 山根真紀, 政二 慶, 福永哲夫(1998)アルペンスキー(回転競技)の場合. Japanese Journal of Biomechanics in Sports and Science, 2(4), pp. 274-280.

SIA 賛助会員一覧 SIAは下記の法人賛助会員、個人賛助会員の皆様に、多様な形でご支援いただいています。

 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 www.aioinissaydowa.co.jp	 アメアスポーツジャパン株式会社 www.amerjapan.com / www.salomon.co.jp	 株式会社アイ・シー・ジャパン www.ic-j.co.jp	 株式会社石井スポーツ www.ici-sports.com	 株式会社岩手ホテルアンドリゾート www.appi.co.jp	 株式会社エクスメディア https://xmedia-inc.co.jp/	 MDVスポーツジャパン株式会社 www.mdvsports.co.jp	 エランジャパン株式会社 www.elanjapan.co.jp	 株式会社 EQ Japan www.eqjapan.com	 株式会社小賀坂スキー製作所 www.ogasaki-ski.co.jp	 オンヨネ株式会社 www.onyone.co.jp	 木村商事株式会社 http://www.kimura-trading.co.jp/	 株式会社クワトロデザイン www.quattro.tokyo	 グループ・ロシニョール株式会社 rossignol.co.jp	 株式会社クロスプロジェクトグループ www.x-pg.com	 元気でんき株式会社 www.genki-denki.co.jp/	 株式会社ゴールドウィン www.goldwin.co.jp / www.fischer.co.jp	 株式会社シナノ www.sinano.co.jp	 シダスジャパン株式会社 https://sidasjapan.jp/	 ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社 www.jaguar.co.jp / www.landrover.co.jp	 株式会社テクニカグループジャパン www.tecnica-group.co.jp	 デサントジャパン株式会社 www.descente.co.jp	 東急少額短期保険株式会社 https://plan.tssi.co.jp/play/	 株式会社ドリムゲート www.aspen-skishop.com	 NORTH RANGE www.northrange.jp	 日本ケーブル株式会社 www.nipponcable.com	 浜理薬品栄養科学株式会社 https://www.hamari-health.jp/	 株式会社ハンクス http://www.kei-ski.co.jp	 株式会社ブルーモリス http://www.bluemoris.com/	 株式会社プレスト www.presto-pre.com	 HEAD Japan 株式会社 www.head.com	 ヘルト株式会社 www.held.co.jp	 有限会社ベイリーフ www.yoroi-blp.com	 株式会社マックアース www.macearth-web.com	 株式会社マンネット www.mannet.co.jp/	 ミズノ株式会社 www.mizuno.co.jp	 ミレー・マウンテン・グループ・ジャパン株式会社 www.millet.jp	 YAMAGA BLANKS yamaga-blanks.com/ski/	 山本光学株式会社 www.yamamoto-kogaku.co.jp	 ルフトスポーツウェアジャパン合同会社 www.icepeak.jp/	 株式会社レクサム www.rexxam.com	 株式会社ロータスインターナショナル www.lotusint.co.jp
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	---	---	--	---	---	---	---	--	---	---	--	---	---	--	---	--	---	---	--	--	--	---	--	---	---	---	--	---

個人賛助会員一覧 (敬称略)

阪田 幸信	小澤 征嗣	佐藤 亮	佐藤 兼子	柴田恵美子	竹石 惇樹	西倉 静夫	稲村 圭一	加藤 聡	新井 裕三	小堀 博彦	谷畑 隆夫	小林 和子	愛甲 勝久	安部 明人
細貝 正紀	縣 信哉	幸保 浩司	本山 公平	本山美津子	本田 清人	後藤 俊樹	林 永信	大島 和子	鈴木 智	秀島 一生	八代 益	佐藤 開	柴崎 秀子	和田 幸子
前河喜美子	下山 達也	小松 直喜	廣村 賢治	石原 重厚	藤田富美子	荒木 進	後藤 照雄	佐取 広久	山本みゆき	古池 道弘	手取屋岳夫	吉田 宗弘	黒川 正博	大島 智朋
藤田 繁	坂村 英之	坂村美代子	安藤 滋敏	阿部 武彦	梶井 晃	杉山 進	本間 政雄	石山亜希実	中山 和子	福田 信一	大森 和子	石川 止善	伊東 清光	多田 正樹
歌田 勝弥	歌田 作子	毛塚 明美	古藤 黎子	下田 裕二	流石 康一	藤木 忠善	森川 哲己	長谷 哲生	大平 正春	秋吉 保廣	土屋 清三	神藏 弘昭	小松 孝行	野原 勝敏
並木 すみ	清水 正也	伊藤 哲也	大楠 晴海	大楠 文代	阿部 耕司	阿部 真紀	望月 國平	小林 修一	細川たかし	矢沢日出子	大神田裕司	戸丸 瑞世	戸丸 隆三	佐藤 節也
清宮 始	関戸 啓子	岡崎 正人	細川 真理	豊田 道次	大堀 堯義	下山 修	海宝 雄太	土田 茂	江畑千恵子	平田 孝夫	小上 忠	高木 正博	見谷 昌福	園原 孝子
青木 恵子	岡本 初子	檜野 勝衛	福興 孝子	杠 一義	梶原 彬實	丸山 正廣	後藤 圭二	池田 祐久	池田 直樹	池田 有輝	王 万永	中釜 恵里	鷺見 浩平	高田 徹
高田万友美	大久保恵美子	島崎 勉	山口多喜二	熊谷 康雄	熊谷 眞理	井上 裕明	木村 憲司	青木 恵	青木美枝子	金子 直樹	中嶋 弘二	立川 洋一	愛宕あもり	小林 誠
中泉 徹	奈良 安貴	山下 淳	中尾 文彦	木村 康則	里中 俊英	岩代 雅樹	今井 朝子	有元 崇浩	高比座 修	隅倉ミチ子	東 国幹	日永 守隆	本杉恵子	



ULTRA WARM

SNOW SPORTS

最も冷えるつま先を ヒーティング。

アプリ接続 スマホで簡単操作



- メリノウール
- 手洗い可能
- ヒートレベル MAX で約 4 時間連続* ヒーティング

*S-PACK1400B 使用の場合



CLIMAYARN®



HEAT FUSION



THERMIC® WARM REFLECTOR™



ヒートフュージョンユニ MOVIE

HEAT FUSION SET

SET = SOCKS + S-PACK

サーミック | Q

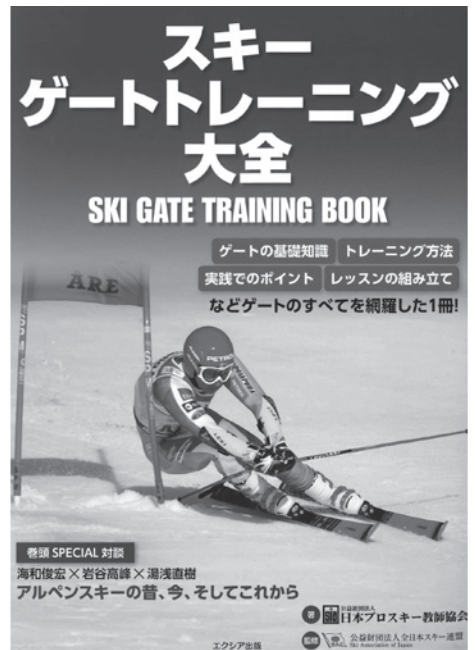
スキーゲートトレーニング大全

【発行日】2022年11月
 【価格】SIA会員：2,200円(税込)
 一般の方：2,750円(税込)

今回発刊された「スキーゲートトレーニング大全」は、規制されたゲートの中を正確で速く滑るためのテクニックを「理論」「応用」「実践」という流れにそって構成されたものです。

本来、スキーテクニックは連続ターンの各局面で姿勢や操作は異なるものです。しかし、日頃のトレーニングで取り組んでいるテクニックは環境や時間の制限により一部分の限られたテーマになりがちです。今回の内容は、そうした問題を改善できるようゲートのための基礎レッスンをベースとしながら中級者～エキスパート、ユース～シニアのレベルアップのために、そして、ゲート入門者～ハイレベルレーサーまで身体や用具を効率よく生かした滑りを目指したものです。

世界のトップレーサーを参考にしながら、そのプロセスを理解しながら練習に取り組むためにレーサーも、そして、指導者にも参考となる教材です。



SIAオフィシャルメソッド

今までの「教科書」というスタイルから脱却し、真の「実用化」を重視しています。写真や文章でイメージできない場合など、掲載されたQRコードを読み取ることで、そのページの内容の滑りを、室内だけでなくゲレンデやリフトの上などの屋外でも動画でチェックすることができます。また、各検定(ステージI～IV)種目に関する滑りや、着眼点も明確に記し、これらも動画でチェックすることが可能です。今まで、検定における筆記試験のために使用されていた「教程」ですが、今回の改訂により、各学校で、または教師個々が、検定前に限らずあらゆる予習ができる、研鑽のためのツールとして「動く教程」へと進化しました!

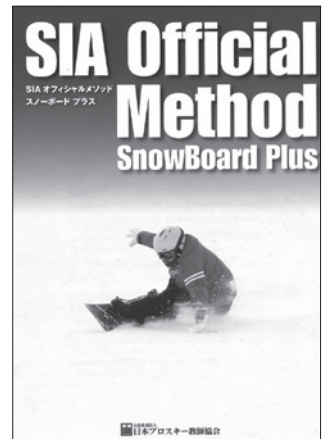
【発行日】2020年11月
 【価格】SIA会員：3,000円(税込)
 一般の方：3,520円(税込)



SIAオフィシャルメソッドスノーボードプラス

Part1、Part2の2部構成
 Part1ではテクニックの紹介やポイント解説に加えて、検定で求めている滑りやレッスン時の使い方も含めてまとめています。Part2では初中級者から上級者までのレッスンの展開例やテクニカルプログラム、マテリアル、セッティングを紹介しています。SIAオフィシャルメソッドと併せてご活用ください。

【発行日】2021年1月
 【価格】2,200円(税込・送料込)



ワッペン/エンブレム/会員バッジ



エンブレムワッペン
 (プレザー用)
 (横68mm×縦70mm)
 SIA正会員
 (スノースポーツ教師
 有資格者)
 本人使用分のみ販売
 5,500円(税込)



エンブレムワッペン
 (スキーウェア用)
 (横63mm×縦58mm)
 SIA正会員
 (スノースポーツ教師
 有資格者)
 本人使用分のみ販売
 880円(税込)



会員バッジ
 SIA正会員
 (スノースポーツ教師
 有資格者)
 本人使用分のみ販売
 1,285円(税込)



ISIAワッペン
 (横78mm×縦61mm)
 ISIA会員
 (スノースポーツ教師
 ステージIII・IV有資格者)
 本人使用分のみ販売
 880円(税込)

SIAステッカー



【価格】740円(税込)

SIA Official Goodsオフィシャルグッズ販売

SIAのスキー、スノーボード教程等の刊行物をはじめオリジナルグッズを販売しております。



申込方法

現金書留若しくは銀行振込でSIA事務局へお申し込みください。

- ◆現金書留の場合……………送付先/〒104-0032東京都中央区八丁堀2-2-9 コバキンビル3F 公益社団法人日本プロスキー教師協会
- ◆銀行振り込みの場合……………振込先/三井住友銀行京橋支店 普通預金 7098636 公益社団法人日本プロスキー教師協会
 ※送付先等を FAX.03-5542-5908、若しくは E-mail: info@sia-japan.or.jp でご連絡ください。
- ◆郵便局「払込取扱票」の場合……………振込先/東京 口座記号 00100-7 口座番号 538041 加入者名 公益社団法人日本プロスキー教師協会

104-0032

東京都中央区八丁堀2-2-9

コバキンビル3F

須木 太郎 様

No. 8888

種別：活動会員

所属：SIAスノースクール

送付：S

有効単位：8

救急法：○

44期保険：4444

更新日：2026/9/30

有効期限：2023/8/25

会費：4443

- 「No.」／会員番号を示しています。
- 「種別」／「活動会員」か「維持会員」であるかを示しています。「活動会員」になろうとする場合、①4年間で8単位取得すること、②救急法の資格が有効であること、③公認スキー学校に所属していることが必要条件となります。
- 「所属」／登録されている所属校を示しています。
- 「有効単位」「更新日」／「有効単位」は現在の有効単位を示しています。「更新日」までに8単位以上の単位取得が必要です。
※「更新日」を迎えると、次の「更新日」は4年後となります。更新したことにより、「有効単位」は0単位と表記されます。4年後の「更新日」までに8単位取得することにより資格が更新されます。
※「累積単位」は、20期以降の累積単位を示しています。
- 「救急法」「有効期限」／「救急法」救急法講習の受講状況を示しています。
◎＝日本赤十字社救急法救急員(または同等の資格、消防署応急手当普及員等)
○＝上記以外(普通救命講習、上級救命講習、救

急法基礎講習等)

すでに受講しているにもかかわらず、「救急法」欄に◎印や○印が付いていない場合、修了証のコピーをSIA事務局宛にご送付ください。

「有効期限」は「救急法」の有効期限を示しています。受講証の有効期限がない場合、SIAとしての有効期限3年としています。

- 「会費」／未納会費は、年会費が未納となっている会期を示しています。
◆空欄＝未納会費なし。
◆会費／44＝44期の会費が未納です。
◆会費／4443＝44期及び43期の会費が未納です。
- 「44期保険」／SIA会員総合補償制度の保険番号等を示しています。
(あいおい損害保険株式会社402662501-●●●●●の黒丸部分を宛名ラベルに記載しています)空欄の方は未加入です。
※この保険は、9月末日までに年会費を納入した会員のみ適応されています。(補償期間は、12月1日～翌11月30日)
このため10月1日～11月30日発行の宛名ラベルには、保険番号ではなく対象予定であること等が表示されます。
※現在未加入の方でも、年会費に2,000円プラスしてご入金頂くと追加で加入出来ます。
- 「送付」／シーズン中(12月～3月)の郵便物送付先について
本人のご希望により、「所属スクール宛」若しくは

“協会登録住所(ご自宅)宛”“送付不要”を選択できます。貴方の送付先については、宛名ラベルの送付欄が次のように登録されています。

- ◆送付／S＝“所属スクール宛”
- ◆送付／J＝“協会登録住所(ご自宅)宛”
- ◆送付／N＝“送付不要”
※“送付不要”について

- 御家族に会員がおり、同様の郵便物が重複している方
- インターネットを活用しているため、郵便物は必要ないという方等

「住所等変更」の場合、すみやかに届け出を

転居等により、住所等に変更があった場合、すみやかにSIA事務局へ届け出てください。(市町村合併等による住所表記変更の場合も手続きを行ってください。)

SIAホームページに「住所等変更」届出フォームを設置しています。

(トップページ→会員ログイン→「各種申請書・申請フォーム」→「住所等変更届出フォーム」)住所連絡先等の変更をSIA事務局へ連絡することができます。

メールアドレス登録のお願い

メールアドレスを登録すると、SIAから研修会などの情報が配信されます。

登録には、SIAホームページ内「住所等変更」届出フォームをご利用ください。

SIA年会費自動払込手続きについて

会員の皆様の「会費」は協会財源として運営の要になっております。会費を納めやすいようにSIA年会費「自動払込」のご登録の推進を図っております。「会員付帯の補償制度加入」や送金手数料が不要になるなどの特典もございます。会友の皆様も会費の納入を失念されることもなく、送金手数料なしで納めていただけます。お手続きに際しましては、以下の内容をご確認いただきますようお願いいたします。

- 引落振替日：毎年9月27日(休日の場合は翌営業日)
- 引落振替案内：毎年6月のSIAニュースに引き落としのご案内を同封致します。
- 通帳への印字：「SMBCファイナンス」で表示されます。
- 引き落とし額：正会員・ステージⅣ／15,000円
正会員・ステージⅢ／13,000円
正会員・ステージⅡ／11,000円
認定会員・ステージⅠ／6,000円
- 会費の前納：会費の支払は9月30日迄に納入することになっています。
引き落とし完了と共に「会員付帯の補償制度」へ自動的に加入手続きがされます。「自動払込」手続きをされていない会員の皆様へは、郵便払込取扱票を毎年6月発行のSIAニュースに同封いたしますのでご利用ください。
- 口座の変更：引き落とし口座の変更がある場合は新たに依頼書の提出が必要です。(締切：5月末日)
- 退会時の手続：退会(会友制度への手続ナシの場合)が決定しますと自動払込の登録を削除します。
- ご注意：2年続けてお届けの口座から引き落としが出来ない場合(シキンブソク等)は登録を抹消させていただきます。新ためて「自動払込」を希望される場合は新規の登録が必要になります。
引き落としが出来なかった場合は事務局より連絡いたします。
尚、ご不明な点等ございましたら手数ですがSIA事務局迄ご一報ください。

〈予告〉次号SIA NEWS Vol.188は2023年6月25日発行予定です。お届け先については「宛名ラベルの見方」をご覧ください。

発行元／公益社団法人日本プロスキー教師協会(SIA)

発行人／杉山公信

編集人／江畑昌英

編集スタッフ／穴田慎一 久慈修 山之内弘 芹川正弘

里中英二 町田知哉 栗原信子

問合せ／〒104-0032

東京都中央区八丁堀2-2-9 コバキンビル3F

TEL. 03-5542-5907 FAX. 03-5542-5908

URL <http://www.sia-japan.or.jp>

E-mail info@sia-japan.or.jp

Enjoy the Winter Resort
ANNUPURI
22-23 WINTER



**NISEKO ANNUPURI
SKI&SNOWBOARD SCHOOL**
TEL 0136-58-3225



ニセコアンヌプリ国際スキー場

〒048-1511

TEL 0136-58-2080

北海道虻田郡ニセコ町ニセコ485

<https://annupuri.info/winter/>

幻想的な雪見露天風呂

スキーの後は、メタケイ酸含有量が豊富な温泉とサウナでリフレッシュ。

ゲレンデ
徒歩5分



北海道中央バス直営

ニセコ温泉郷 いこいの湯宿いろは

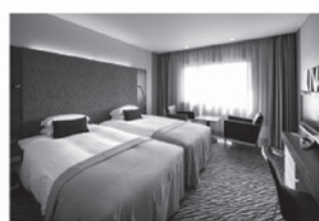
<https://www.niseko-iroha.com/>

ご予約・お問い合わせTEL0136-58-3111

ゲレンデ
徒歩0分



**Niseko Northern Resort
An'nururi**



北欧の洗練されたデザインと寛ぎの空間をテーマとした [Scandinavian chic] をコンセプトにしたホテルです。

ニセコノーザンリゾート・アンヌプリ

<https://www.niseko-northern.com/>

お問い合わせTEL0136-58-3311